

令和7年4月9日

(一社) 日本基礎建設協会
(一社) コンクリートパイル・ポール協会
(一社) 鋼管杭・鋼矢板技術協会

「基礎施工士」資格への「鋼管杭施工管理士」資格の統合について

近年の建設分野における諸状況を勘案し、基礎構造に係わる課題へのよりの確な対応を図るためには、基礎の施工技術力の確保・向上、技術者の育成等が不可欠であります。このため、(一社) 日本基礎建設協会、(一社) コンクリートパイル・ポール協会及び(一社) 鋼管杭・鋼矢板技術協会の三協会は、基礎工事全般の施工資格というより広い概念に立ち、基礎施工士の充実を図るため、「基礎施工士」に既製杭に分類される鋼管杭工事の「鋼管杭施工管理士」を組み入れ(統合)て、より広範かつ高度な能力を持つ技術者資格として、令和8(2026)年度の国土交通大臣登録「登録基礎ぐい工事試験(基礎施工士)」より、試験範囲に鋼管杭分野を加えて実施します。

1. 「鋼管杭施工管理士」の組み入れ(統合)後、実施する資格試験(以下、「新統合資格試験」)の合格者(以下、「新統合資格者」)は、より広範かつ高度な専門的技術能力を持つ資格取得者として位置付け、組み入れ(統合)後の資格名は「基礎施工士」とする。

2. 新統合資格試験は、令和8(2026)年度から実施する。

なお、新統合資格者の技術レベル等を担保するために、試験の内容・時間の確保等については、厳格かつ適切に行う。

3. 新統合資格試験の問題構成

〈新統合資格試験の問題構成〉

試験項目				出題数
四者択一式	基本問題			24問
	施工問題	杭一般		4問
		場所打ちコンクリート杭		20問
		既製杭	コンクリート杭	10問
			鋼管杭	10問
	計			68問
記述式				2問

〈現行試験の問題構成〉

試験項目			出題数
四者択一式	基本問題		24問
	施工問題	場所打ちコンクリート杭	22問
		既製コンクリート杭	22問
	計		
記述式			2問

〈既資格取得者が新統合資格へ移行するために必要な受験範囲〉

試験科目			既 取 得 資 格						
			問題数	鋼管杭施工管理士	基礎施工士 (場所打ち杭)	基礎施工士 (既製コンクリート杭)	基礎施工士 (場所打ち杭) + 鋼管杭施工管理士	基礎施工士 (既製コンクリート杭) + 鋼管杭施工管理士	基礎施工士 + 鋼管杭施工管理士
四者択一	基本問題		4問	○	○	○	○	○	更新講習会 を受講する ことで 移行可能 (受験不要)
	施工問題	杭一般	4問	○	○	○	○	○	
		場所打ちコンクリート杭	20問	○		○		○	
		既製杭	10問	○	○		○		
		鋼管杭	10問		○	○			
	記述式		2問	○	○	○		○	

※ ○が受験範囲

4. 資格の更新について

現 行 資 格	認定証 の色	更 新
基礎施工士	赤	2026 年度以降の更新講習会を受講することで、新統合「基礎施工士」に移行する。
基礎施工士 (場所打ちコンクリート杭)	緑	これまでどおり、5 年ごとの更新講習会を受講することで更新できるが、有効期限は最長 2030 年度となる。
基礎施工士 (既製コンクリート杭)	青	これまでどおり、5 年ごとの更新講習会を受講することで更新できるが、有効期限は最長 2030 年度となる。
鋼管杭施工管理士	紫、金	これまでどおり、5 年ごとの更新講習会を受講することで更新できるが、有効期限は最長 2035 年度となる。

- ・すべての資格保有者は、資格統合後の三協会共催による更新講習会を受講する。
- ・更新講習会は、東京・大阪の 2 会場で開催する。なお、講習会は従来どおり 1 日とする。

5. 資格統合に伴う「鋼管杭施工管理士」の取扱い

新統合「基礎施工士」に移行しない「鋼管杭施工管理士」の資格名称は、「基礎施工士（鋼管杭）（旧鋼管杭施工管理士）」となる。

6. 認定証の発行

統合後の「基礎施工士」、「基礎施工士（場所打ちコンクリート杭）」、「基礎施工士（既製コンクリート杭）」および「基礎施工士（鋼管杭）（旧鋼管杭施工管理士）」の認定証は、三協会の連名で発行する。

7. 受験料 24,200 円（税込）

8. 既資格取得者へは、令和 8（2026）年 1 月頃までに個別に案内を送付する予定です。